ASA フレンドリーコム Vol.87(2011 Mar.)
ASA 用賀
ASA 二子玉川で
毎月 1 回発行

知ってますか？決めてますか？

今回の東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。購読者皆様のご親戚や知人友人の方で未だ安否の確認ができていない方もいるのではないかと考えると胸が張り裂けそうな辛い気持ちになります。今はただご無事を祈るばかりです。さて、2004 年 11 月号で「備えあれば憂いなし」と題して、災害時の備えに関して特集しましたが、再度、普段心がけておくことと災害が起こったときの対応を「世田谷区の災害時区民行動マニュアル」を中心にご紹介します。

世田谷区役所 危機・災害対策課が問う！防災意識チェックシート！

チェック項目	チェック	ひとことアドバイス
①非常時のために食料・水を備えていますか		乾パン、缶詰、水(1 日3ℓ)など、1人3日分が目安です
②家庭用消火器などの消火具を備えていますか		延焼する前にすばやく消火することが大切です
③非常時用持ち出し品を準備していますか		懐中電灯、携帯ラジオ、救急セットなどが役立ちます
④家具類のおき方の工夫や、転倒防止器具での固定をしていますか		家具等の転倒により多くの人的被害が発生します
⑤地域の防災訓練に参加していますか		防災訓練の申込み、相談は総合支所地域振興課へ
⑥隣近所で「災害時の助け合い」について話し合っていますか		高齢者や障害のある方などを地域全体で支援しましょう
⑦最寄りの避難所までの経路を把握していますか		日ごろから危険の少ない避難経路を確認しましょう
⑧災害時に区立小・中が避難所となるのをご存知ですか		自宅で生活できないとき、一時的にそこで生活します
⑨災害時の地震情報の入手方法を考えていますか		ラジオ・FM 世田谷(83.4Mh)からも入手できます
⑩家族で緊急時の安否確認方法を決めていますか		災害用伝言ダイヤル「171」などを活用しましょう

＜結果診断＞

チェック数はいくつでしたか？

0～1個	すぐに備えを始めましょう
2～4個	もっと備えが必要です
5～7個	ある程度備えられています
8～10個	防災への意識が高いです

＜非常持ち出し品の例＞

＜決めてますか？連絡方法＞

今回の経験でわかったことは、電話は圧倒的に繋がりにくいということ。いざというとき、お互いがどのように連絡を取り合うか決めておくことは大変重要に思いました。連絡の取り方には以下のような方法がありますが、完全ではありません。普段から話し合い、決めておくことが大事です。

- ●災害用伝言ダイアル 171 又は web171 を使う
- ●e メール、スカイプ、ツイッター、フェイスブック等ネット回線を使う
- ●各携帯電話事業者の災害用伝言板サービスを使う
- ●番外編ですが、有名人のブログのコメント欄に書き込むという事例もあるようです。詳しくは各事業者まで。

★「田舎のごっつお」スタッフの無事確認

用賀にある陸前高田のアンテナショップ「田舎のごっつお」。震災当日、藤井、村上両氏は陸前高田に戻っている最中。中々、本人と連絡が取れず、用賀商店街関係者もやきもきしましたが、その後、無事との連絡が取れ、一同ホッとしました。できる限りの応援をしたいと思っております。

＜家族での話し合いが大事＞

大地震が発生したとき「自分の身の安全は自分が守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という心がまえと行動が基本です。

地震の被害を小さくするには、家庭や隣り近所で災害への備えをし、災害発生初期に適切な対応をする必要があります。

「いざ」というときにどうするのかということを家族みんなで話し合い、以下の項目を決めておくということが大切です。

- ＊家の中でどこが一番安全か、また、危険なところはどこか？
- ＊一時集合所、広域避難場所はどこか（散策を兼ねて家族みん
- ＊最短距離より、安全な避難ルートを全員で考える
- ＊広い広域避難場所では、自分たちの集合場所を決めておく
- ＊離れた場所にある親戚の家や災害用伝言ダイヤルを災害時の
- ＊非常時に持ち出すものとして何をそろえておけばよいか？

被災地応援イベント！元気出そう、 用賀の春

ようがパワー開催！

用賀地域の様々な団体が立ち上がり「ようが有志の会」が急遽結成され、被災地応援イベントが開催されます！
屋台やバザーなど盛りだくさんの企画です。売り上げの一部は義援金として寄付させていただきます。
是非お立ち寄りください！

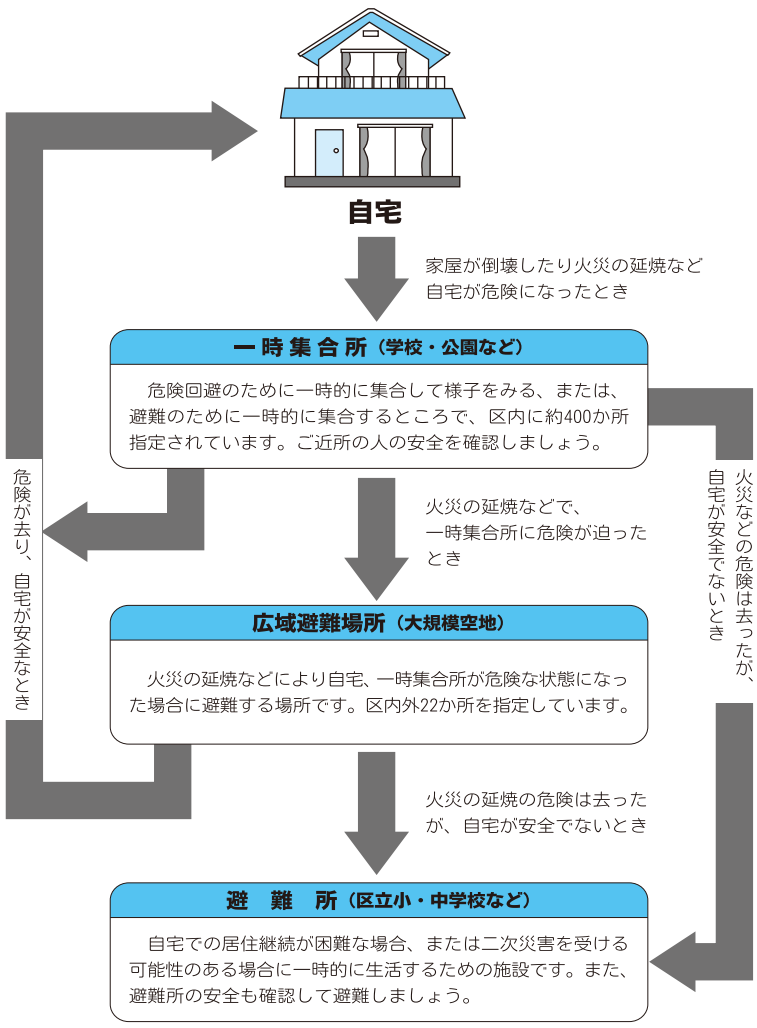
日程：4 月 2 日（土）、3 日（日）
時間：11：00～16：00
場所：真福寺参道（土日）、大山通り（日）

＊いろはにアサッチ＃20「ね」＊
～念には念を入れよ～

「ね」は、江戸では 「念には念を入れよ」で、注意したうえにも注意を重ねよ。きわめて慎重に物事を行えという意味。大阪では「寝耳に水」で、突然思いがけないことを聞いてびっくりすること。語源は、寝耳に水の「水」とは洪水などの濁流音で、耳はもちろん体の「耳」。治水が完全でなかった昔はよく川が氾濫したそうで、それが寝ているときであればなおさら驚くことになり「寝耳に水」となりました。京都では「猫に小判」で、貴重なものを与えても、本人にはその値うちがわからないことのたとえ。

地震の時の避難はこうする

「世田谷区災害時区民行動マニュアル」より



<次のようなときに避難します>

◎区や防災関係機関の避難勧告や指示があったとき
◎避難の指示がなくても防災区民組織等が避難の必要があると判断したとき
◎周辺地域に火災が発生し、延焼の危険があるとき

地震が発生したからといって、ただちに避難するというものではありません。しかし、必要なときはいつでも避難できるように早めに準備をしておくことが肝心です。

<用賀・玉川地域の主な一時集合所> 以下は2004年時の主な集合所です。

＊岡本方面＊
聖ドミニコ学園グランド
岡本民家園
東京日産ﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞｶﾚｯｼﾞ

＊鎌田方面＊
三角公園
鎌田２丁目南公園
砧南中学校
吉祥院
鎌田天神社境内

＊上用賀方面＊
用賀技能開発学院
天神児童遊園
上用賀ﾃﾆｽｸﾗﾌﾞ
用賀中学校
用賀小学校
砧緑地

＊玉川方面＊
諏訪神社
二子玉川小学校
用賀児童遊園

＊瀬田方面＊
瀬田１丁目長崎氏畑
瀬田小学校
瀬田中学校
天理教玉瀬分教会
聖ｱﾝﾄﾆｵ神学校
ﾊｳｼﾞﾝｸﾞﾌﾟﾗｻﾞ瀬田

＊用賀方面＊
桜町小学校
用賀神社境内
郵政省宿舎前庭
京西小学校

最新情報は所属する町会、自治会でご確認ください。

<用賀・玉川地域の主な広域避難場所> 詳しくは所属する町会、自治会でご確認ください。

馬事公苑・東京農業大学一帯、砧公園・大蔵運動公園一帯、多摩川河川敷・二子橋一帯

<用賀・玉川地域の主な避難所> 詳しくは所属する町会、自治会でご確認ください。

京西小、二子玉川小、桜町小、瀬田小、用賀小、瀬田中、用賀中、砧小、砧南小、砧南中

<用賀・玉川地域の主な医療救護所>

医師会から医師・看護師が、歯科医師会から歯科医師、歯科衛生士等が派遣され、応急措置を行います。

砧南中、用賀中、二子玉川小、玉川中、深沢小

災害時、エフエム世田谷が頼りになる！

区内の地震情報、被害状況や安否情報、生活情報など被災者が必要とする情報をエフエム世田谷を通じて知ることができます。

<避難時の注意>

避難するときは、傷ややけどを負わないよう、できる限り夏でも長袖、長ズボンを着用するようにしてください。女性はスカートを避けてください。また、化学繊維は火に弱いため避けてください。
その他の注意点は右に列挙の通り

・避難する前に、もう一度火元を確かめる。
　ブレーカーも落とした方が安全です
・荷物は最小限にする。
・家には避難先や安否情報を記したメモを残す。
・靴は材質が厚く丈夫なものを履く。手袋（軍手）は着用する。
・避難は徒歩で。
・お年寄りや子供の手はしっかりと握る。
・避難はできるだけ指定した避難場所へ。
・避難場所へ移動するときは、狭い道・塀ぎわ・川べりなどは避ける。

【緊急地震速報を見聞きしたときの心得】

今回、テレビやラジオ、携帯電話で緊急地震速報を見聞き又は受信した方も多いと思います。私も携帯電話が突然鳴り出した直後に地震が起き、なるほど逃げる間はないけれど、「地震が来るな」と心構えができるようになりました。今後も緊急地震速報を見聞きすることもあるかと思います。そのような時はどうしたら良いのでしょう？

■　屋内にいるとき

【家庭では】
・頭を保護し、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
・あわてて外へ飛び出さない。
（ガラスや瓦が落ちてくる）
・その場で火を消せる場合は火の始末、火元から離れている場合は無理して消火しない。
・扉を開けて避難路を確保する。

【不特定多数の者が出入りする施設】
・施設の従業員等の指示に従う
・その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。
・あわてて出口・階段などに殺到しない。
・吊り下がっている照明などの下からは退避する。

■　屋外にいるとき

【街にいるとき】
・ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒に注意し、これらのそばから離れる。
・ビルからの壁、看板、割れたガラスの落下に備え、ビルのそばから離れる。
・丈夫なビルのそばであればビルの中に避難する。

■　乗り物などで移動中

【自動車運転中】
・あわててスピードを落とさないでください。
・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
・急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす
・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止させる

【鉄道やバスなどに乗車中】
・つり革、手すりなどにしっかりつかまる

【エレベーター利用中】
・最寄りの階で停止させ、速やかにエレベーターから降りる

★緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。緊急地震速報を見聞きしたときの行動は『周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する。』ことが基本です。今号がお役に立てば幸いです。

それ行け！！アサッチ